

平成25年度第1回理事総会報告

平成25年4月20日（土）

於：札幌ガーデンパレス

【議 事】

4 規約の改定

(1) 第5章 会長・副会長・相談役・顧問

ア 第12条（会長・副会長）… 提案どおり承認された。

イ 第18条（常任理事会）… 「三役・常任理事で構成する」に提案変更で承認

ウ 第31条（付則）… 承認

(2) 北海道管楽器個人コンクール・アンサンブルコンクール実施規定

ア 第10条（個人コンクール演奏時間について、規定が改定されていなかった点）
… 承認された。

イ 第24条（付則）… 承認

(3) 北海道吹奏楽コンクール審査内規

ア 第3条（上下カットについて）… 一部の理事から代表を送らない部門には上下カットがあった方がよいという意見もあったが承認された

イ 第4条（代表団体の決定について）… 【訂正】改定案の② ～3団体になった場合は～を、～代表団体数を超えた場合は～に訂正した上で改定案が承認された。

(4) 旅費等の規定

ア 第3条（旅費の種類）… 承認された。

イ 第4条（旅費の運用）… 承認された。

5 新役員の報告

理事長より新役員を次のとおり紹介される。

《会長》早勢 宗雄（欠席） 《副会長》伊藤 千秋 《相談役》鹿討 譲二

《副理事長》横山 眞昭、高橋 徹 《常任理事》工藤 一之、菅原 克弘、長谷 和明、

田中 義啓、河合 健哉、山下 富義 《監事》大泉 徹、宮崎 幹夫

《事務局長》青山 泰寛 《事務局次長》山田 洋介 《事務局員》小田島 梨恵

6 全日本吹奏楽連盟理事の推薦

2名推薦—井田氏、鹿討氏を推薦 … 承認された。

7 報告事項（理事長から今年度の運営方針）

(1) 全日本の一般社団法人認可に伴い、支部という名前は使えなくなる。北海道としては運営上は特に問題ない。

(2) 各大会、HBMCなどの充実を図る。併せて新聞やテレビ、ホームページ等でも広報の充実を図る。（特に朝日新聞社、HTB〈北海道テレビ放送〉とは吹奏楽の普及・広

報の観点から緊密な連携を取って頂くよう協議を重ねている)

- (3) 全日本の三出制度の廃止。東日本については継続する見通し。
- (4) 全日本からの各種補助金の凍結・検討に対する道吹連としての対応。
- (5) 少子化や人口減少地域への対策・支援。
- (6) 東北被災3件に対する復興支援…今年度も続けたい。
- (7) 健全な運営と透明な会計運営…月1回の税理士による会計指導、随時、相談弁護士から法令関係の指導。

8 審議事項

- (1) 第1号議案 平成24年度事業報告(青山事務局長)…承認
- (2) 第2号議案 平成24年度管楽器個人・アンサンブルコンクール反省(青山事務局長)
 - ・個人コンクールの実施方法について秋の理事総会まで各地区で検討する。
 - ・事務局としては、個人コンクールの木管の部、金管の部からどちらか一つを地区代表とする案が妥当と考えている。それも含めてご検討いただきたい。
 - ・秋の理事会で方向性を出し、来年度からの実施を目指す。
- (3) 第3号議案 平成24年度決算報告ならびに監査報告…承認
- (4) 第4号議案 平成25年度事業計画(案)…承認
 - ・マーチングコンテストの今後の開催場所については未定であるが、早急に結論を出したい。
 - ・全日本の動きについては、平成27年度が東日本大会、平成28年度が大・職・一と、北海道支部が全国大会の主管となっている。
- (5) 第5号議案 第58回吹奏楽コンクール開催要項について…承認
 - ・吹奏楽コンクール開催要項、9審査方法の3~4行目を削除する。
(地区と全道の審査員を兼ねない、コンクール出場団体の直接指導をしないことについては審査員に当たっている先生方に周知徹底してもらう)

【訂正】吹奏楽コンクール開催要項、11入賞の②「職場・一般」代表数は2団体

- ・高校C編成の入場料について前売り1,800円→1,000円、当日2,000円→1,200円(初日のみ、高校Cと高校Aの間で入場者の入れ替えを取っていて、高校Cの時間では割が合わないため)
- (6) 第6号議案 第13回東日本学校吹奏楽大会について…承認
 - (7) 第7号議案 平成25年度予算(案)…承認

(8) 第8号議案 地区提出議題について

〔北見地区からの提案 …B・C編成の見直しについては、しっかりと時間をかけて検討してほしい〕

- ・緊急に人数を変更するというのは難しいのではないかというのが現時点での見解である。

(9) 第9号議案 平成26年度 第59回吹奏楽コンクール審査員について

- ・第5号議案で提案したとおり

9 連絡事項・その他

(1) 第1回北海道バンドミュージックキャンプについて

- ・鋭意準備中、具体的にはホームページを見てほしい

(2) その他

- ・B・C編成の職場、一般との統合については慎重に検討する
- ・インフルエンザ等のアンサンブルコンクールのメンバー変更については、各団体の教育的判断でよいのではないか。道吹連としては、学校が出校停止と定める伝染病については変更を認める方向。ただし、あくまでも最初に登録したメンバーが基本かと思うが、継続して検討する。

【事務局長会議の中で質問された事項について】

○東日本大会の出場枠の基準はどうなっているのか。

- ・その年度毎に企画委員会で協議し、基礎数を決めている。

平成25年度は小学校2、中学校4+1、高校3 計10

※中学校のみ支部の参加数に応じて1~2をプラスしている。

○アンサンブルコンクールの団体の合同出場は吹奏楽コンクールと同じ扱いでよいか。

- ・学校の統合等でやむを得ない事情の場合は可であるが、アンサンブルは8人までなので、生徒数が8人以下の学校の出場は考えにくく、基本的にアンサンブルでの合同は認めない方向でいく。（常任理事会見解）

【議案書の訂正について】

○議案書6の第50回北海道管楽器個人コンクール・第45回北海道アンサンブルコンクールの(5)、出場順について

- ・各部門毎、打楽器→管打→金管→木管の順とし、人数は多い方から少ない方とする。

《訂正》

- ・各部門毎、打楽器→管打→木管→金管の順とし、人数は少ない方から多い方とする。